科目	単位	時間	履修学年	講師名
看護の統合と実践	1	30	3	

ねらい	これまで学んだ知識、技術、態度を統合し、状況に合わせて判断した看護実践をおこなうための基礎的能力を養う。

回数	授業内容	授業方法
1～2 回目	1.看護の統合と実践とは 1) 医療における安全看護業務のマネジメント 2) リアリティショックが起こる場面 2.療養環境の中で発見されるリスクとは 1) 多様な場面での気づきを看護につなげる重要性 2) ベッド周りの安全について観察演習	講義・演習
3～5 回目	3.医療事故が起こりやすい看護技術 1) 点滴静脈内注射の薬剤準備・輸液管理(滴下数の計算・調節) 2) 輸液ポンプ、シリンジポンプで起きやすい事故 3) 人工呼吸器の接続、挿管チューブの仕組みと管理に 4) 酸素ボンベの取り扱いと残量計算 5) 低圧持続吸引機の注意点	講義 GW・演習
6～7 回目	4.多重課題トレーニング演習 1) 複数受け持ちの多様な場面での看護判断 2) 複数受け持ちの優先度を考える 3) 優先順位を考えた行動計画とその根拠	講義 個人ワーク 演習・GW
8～12 回目	5. 事例を用いた模擬患者の状況の状況判断と看護計画 1) 事例紹介　2) アセスメント 3) 看護診断　4) 看護計画立案	
13~14.5 回目（45 分）	6. 医療安全を重視しながらの観察及び個別性に合わせた援助技術の探求 1) 術後で様々なドレーンや持続点滴中の患者の看護（寝衣交換の工夫、移動・移送） 2) 一時的吸引　3) 留置針の挿入と点滴管理 7. 複数受け持ち患者のマネジメント 1) 1日のケアの優先度の決定 2) 気づきの看護とは OSCE（客観的臨床能力試験）	講義・演習 (DVD) 試験
15 回目（45 分）	8.終講試験　筆記試験	

教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ　(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　(医学書院) 系統看護学講座 統合分野　看護の統合と実践②　医療安全　(医学書院) 系統看護学講座 統合分野　看護の統合と実践①　看護管理　(医学書院) 医療安全ワークブック　(医学書院)
評価方法	筆記試験：50 点（25 分）　演習課題：50 点
備考	